

◎景気ウォッチャー調査[2024年6月]

2024年6月の中国地域調査結果の概況

■景気の現状に対する評価

現在の景気を3か月前と比較するとその評価は次のとおりであった。

景気の現状判断D I (合計)は、前月を0.1ポイント上回る46.3となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「悪くなっている」の回答の割合が減少したため、前月を0.5ポイント上回る44.9となった。

企業動向関連は、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答の割合が減少し、「今現在、非常に忙しい状況である。」(輸送用機械器具製造業)等の理由から、「良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を2.3ポイント上回る49.3となった。

雇用関連は、「やや良くなっている」の回答の割合が減少し、「求人数が前年同期と比べて、20ポイント近く減少している。」(人材派遣会社)、「企業側が求人しても、必要な人数を集めることが困難になっており。魅力的な求人条件を提示できるかが問われる状況である。」(求人情報誌製作会社)等の理由から、「やや悪くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を8.9ポイント下回る50.0となった。

	6月	5月	前月差
合計	46.3	46.2	0.1
家計動向関連	44.9	44.4	0.5
企業動向関連	49.3	47.0	2.3
雇用関連(参考値)	50.0	58.9	-8.9

■景気の先行きに対する評価

現在より3か月先の景気の先行きに対する評価は次のとおりであった。

景気の先行き判断D I (合計)は、前月を1.1ポイント上回る48.9となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答の割合が減少し、「今後の動きをしっかりと注視する必要があるが、定額減税による消費拡大が期待できる。」(コンビニ)、「これから、夏休みやお盆といった大型連休が来るため、ファミリー層の予約に期待している。」(観光型ホテル)等の理由から、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を2.4ポイント上回る48.2となった。

企業動向関連は、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答の割合が減少し、「生産計画では、3か月後はもっと忙しくなる予定である。」(輸送業)等の理由から、「良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を0.7ポイント上回る50.7となった。

雇用関連は、「やや良くなる」の回答の割合が減少し、「求人数の減少は、自動車業界の不正問題など特定の要因によるものもあるが、幅広い業種で減少しており、改善する気配はない。」(人材派遣会社)、「大きな流れは変わらず、労働力人口減少に対する企業側の変化が求められていると強く感じる。」(求人情報誌製作会社)等の理由から、「やや悪くなる」の回答の割合が増加したため、前月を8.9ポイント下回る50.0となった。

	6月	5月	前月差
合計	48.9	47.8	1.1
家計動向関連	48.2	45.8	2.4
企業動向関連	50.7	50.0	0.7
雇用関連(参考値)	50.0	58.9	-8.9